

## 1. 2022年度の経緯

I 現役生より足柄観測所の管理が出来ないとの話があり、所有権を現役からOB会に戻し、費用負担をOB会が行うことを世話役会で決定した(2022/6/19(日))

II 現役生からの意思表示について

前委員長の斎藤さんから 2022/06/29(水)下記メールが届いた。

- ・現役生で話し合った結果、以下の通りとなった。
- ① 現役生では現在足柄観測所の管理を十分に行うことができないと判断。
- ② 足柄観測所の所有権を現役生から OB 会に戻し、管理をお願いしたい。
- ③ 今年度分(2022/4/1-2023/3/31迄)の支払済み。

※足柄観測所の観測機材の所有を現役から OB 会に戻すことが世話役会で承認された。(2022/10/15(土))

## 2. 2023年度の経緯

III 足柄観測所のドーム、機器(鍵含む)の移管手続き 2022.12.11(日) 13:00-14:15

出席者(敬称略)：斎藤(2019神話:2021委員長,2022委員長代理)、  
横山(2021天写:新委員長)、川井(1977惑星)

~東海大学近く キッチン・オリーブ(旧ボルボ)店舗にて~

- ・手続き内容は2頁参照
- ・下記受け取ったドームの鍵と小屋の鍵



IV 2022年度OB負担分の現役への費用支払い 2022.12.12(月) ¥3750

2022/7/1~2023/3/31分 ¥5000×9/12=¥3750

V 足柄観測所視察 2022.12.18(日) 12:00-17:00 川井の車で現地へ

視察メンバー：松岡(1977太陽)、野島(1993流星)、川井(1977惑星)

- ・ドーム、機器、小屋共にかなり老朽化している(機器赤道儀は錆錆の状態)。
- ・最近使われていないようでドーム内、小屋内共に埃まみれ。小屋内に虫の死骸多。  
→かなり劣悪な環境 ~視察時の様子は3頁参照~

## 手続き内容

### 足柄観測所の所有権と管理責任に関わる覚書

東海大学天文学宇宙 OB 会（以下、OB 会という）と東海大学天文学宇宙同好会（以下、TUD という）は足柄観測所の所有権と管理について話し合い以下の様に協議がまとまったので本覚書として記録する。

#### 1. ドーム及び機材の所有権について

従来の所有権を有すると推定される TUD より 2022 年 7 月 1 日をもって無償にて所有権を OB 会に移転する。

注 1) OB 会より TUD に管理を移管した際に所有権が移転したどうか明確ではないが、OB 会として管理が出来ていない事実に基づき実質的に TUD が所有権を所有していると判断した。

#### 2. 管理について

ドーム及び機材の所有権移転に伴い、管理責任も OB 会が TUD より引き継ぐ。

注 2) 現状は明治大学天文部 OB 会の観測所を間借りした形でドームを設置し機材を共同使用している状態であるため、明治大学天文部 OB 会との関係を含め全ての管理を引き継ぐことになる。

#### 3. 今後の費用負担

所有権の移転と管理の移行に伴い、今後発生する費用については原則として OB 会が負担する。

本年度 TUD が負担した管理費用 5,000 円のうち 7 月 1 日以降の月割り 9 ヶ月分 3,750 円を TUD の指定口座に OB 会より振り込む。

#### 4. 鍵の管理

管理の移管に伴い TUD 所有の観測所の鍵を OB 会に返却する。

#### 5. 協議

本覚書に記された内容を実行するに当たり疑義が生じた場合は OB 会、TUD 双方が誠意を持って協議することで問題解決に当たるものとする。

OB 会および TUD は、本覚書の内容に同意した証として本書 2 通に記名、捺印しそれぞれが本書一通を保管する。

2022 年 6 月 30 日

東海大学天文学宇宙 OB 会

会長

川井 卓



東海大学天文学宇宙同好会

委員長代理

齋藤 清子



## VI 視察時の様子



## VII 世話役MLで6.9(金)～6.15(木)に行ったアンケート

- a. ドーム、赤道儀は廃棄の方向で進める。
- b. 明治 OB 会がドーム、機器(赤道儀)必要とする場合は譲渡する。  
(これ以外の譲渡は無しとする)

a、b はアンケート各自意見、過去の経緯も考慮している → 承認 6/25(日)世話役会

VIII 2023年度使用料 明治大学天文部OB会へ ¥5000 支払い 2023/06/22

2023/6/24(土)の明治大学天文部OB会との会議で使用料 ¥5000 振り込み確認連絡有り

IX 第一回足柄観測所会議 (SKYPE) 2023.06.24(土) 10:00-12:00

・出席者～敬称略～

明治大学天文部OB会：鈴木 会長代理(2001)、三谷(1972)、田部(1975)、是恒(1977)

東海大学天文宇宙OB会：川井(1977惑星)、松岡(1977太陽)、佐野(1991惑星)、  
野島(1993流星)、井上(2004惑星)

■明治大学OB会側の説明(ドーム、機器メンテナンス)

・ドームの可動部や赤道儀等は殆ど是恒様がメンテナンスを継続してくれた。  
(鈴木様)

・赤道儀はコントローラーの断線を修理。(是恒様)

・ドームの整備は、グリス塗りをしていました。

また三谷さんと回転部などの滑車の調整をしました。(是恒様)

・赤道儀の動作に問題があるとの重野様報告に基づき確認する予定だが  
実施されていない。(是恒様)

・草刈りは是恒様しかしていないとの認識(是恒様)

※東海側は行かなくなってから(2017年以降)草刈り等は全く行っていないので  
今後は応分に対応するつもりである(川井)

■今後について(撤収)の意識合わせ <撤収を余儀なくされる理由>

・観測小屋、ドーム、機器共に老朽化が進行している(出席者共通認識)

・最初の観測小屋は1981年から2003年迄(22年間)、今の観測小屋は2003年から  
なので築20年、耐用年数から考えて3年後位に撤収が妥当か。(田部様)

・観測小屋は電気等が引けないので観測所としての機能が不十分であること、あまり  
公に出来ない状況(法的に)であること、老朽化が進んでいることから使用頻度が  
極端に下がってきている。(田部様)

・解体準備金を当初用意していたが現在食いつぶしている状態なので早めに撤収  
した方が良いとの判断。(鈴木様)

①撤収迄の3年間の観測所使用予定

東海現役	東海OB	明治現役	明治OB
無し	ほぼ無し	無し	有り*

\*今後使用頻度少なくなる

・今後新たに観測所を作る計画は無い(鈴木様)

②撤収の方向性について

※本会議参加者は撤収やむなしとの意見で一致

③連絡網

・現在会議を行っているSkypeのチャットに連絡事項を記載したり、  
資料を貼り付けることで連絡するようになりたい。(川井)

→皆様の了承を得た。

④今後すべきこと

- ・地主様に意思を確認する。（鈴木様）
- ・撤収に関わる費用を検討する。（業者を探す、見積もりをとる）（鈴木様）
- ・現役生に使用意思の確認（鈴木様、現役生部の部長として）
- ・使用料負担の東海側応分については今後も支払いを続ける。（川井）

X TUDOB会今後の対応

- ・第2回目の会議が近いうちに行われる予定
- ・今後は、世話役会のメンバーのみで対応→一般会員も含めたプロジェクトに移行して行きたい(足柄観測所に思い入れのある人に参加をお願いしたい)。

以上